

S バス長篠山吉田線のダイヤ改正について

目的・趣旨

鳳来南部地域にはSバス長篠山吉田線と山吉田ふれあい交通（自家用車有償旅客運送）があります。住民主体の検討組織山吉田地域の交通を考える会では、Sバス長篠山吉田線と山吉田ふれあい交通の調和、山吉田地域の公共交通の実用性について調整・検討を行ってきました。

Sバス長篠山吉田線は、主に中学校の通学に利用されているため朝と夕方の便は多く、一方で、通学で利用されない便においては少ないという現状です。この度、山吉田地域の交通を考える会から鳳来南部地域の公共交通について別紙のとおり提案を受けました。これをもとに鳳来中学校、鳳来中部小学校に意見を聴取し、運行事業者と調整を図りながら考える会と協議を進め、運行ダイヤ改定案を下記のとおり作成しました。

ダイヤ改正日：令和8年4月1日（水曜日）

変更箇所一覧

	旧	新
便数	6 便	5 便
ダイヤ改正	—	中学生に合わせた時刻 ・ 6 時の便を廃止 ・ 9 時の便を 8 時に変更 ・ 昼の便（11 時、13 時）の廃止
	—	分かりやすい運行ダイヤ ・ パターンダイヤ化

令和7年度実績（R6.10～R7.9）

一般利用者	10,084 人
通学利用者	1,029 人
合計	11,113 人

周知方法

市 HP、3/16 各戸配付（鳳来南部地区＋蔵平）

令和7年11月10日(月)

山吉田地域の公共交通の運行見直しについて

山吉田地域の交通を考える会

会長 石野里美

山吉田地域では移動のための交通手段として主にSバスとふれあい交通があります。地域の交通を行政だけに委ねるのではなく、地域住民が主体となって住民の声を拾い上げ、交通について再検討したり、それらを反映していくために、私たちの会が発足することとなりました。

本年度は、会の発足から3年目を迎え、既に半年が過ぎました。これまで、会としましては、地域住民の利便性を考え、住みやすい生活を送るための交通環境を整えるために、住民の皆様からアンケート調査をしたり、中学生の実態調査をしたり、Sバス長篠山吉田線の乗降調査をしたりして検討をまいりました。

先般より特に取り組んできましたのはSバス長篠山吉田線とふれあい交通の調和、山吉田地域の公共交通の実用性についての検討です。

来年度には以下の様に進めていくことを区会で承認されました。

1. Sバス長篠山吉田線の基本的な運行の在り方は、主な利用者である中学生の登下校に合わせた運行とする。
2. 現行の1便は殆ど利用がないため廃止とする。
3. 現行の3便(昼便)は中学生のみ対象とした臨時便とし、主に定期テストや式典などの行事に対応した不定期便とする。
4. 現行の2、4、5、6便については中学生の利用状況に応じた定期ダイヤとする。
5. 一般は主にふれあい交通を利用してほしい。(Sバス乗車もできる)
その場合は本長篠駅間の運賃を見直しをする。
6. 中学生減少に伴い乗降バス停の削減については、しばらくは現状のままとし乗降の実態に合わせて削減させていく。

今後は市役所公共交通対策課に提出をし、新城市公共交通会議で協議し、承認を頂き実施していくことになります。